

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語／現代の国語】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）

現在一年生普通科クラス。進路希望は大学、短大、専門学校、就職と多岐にわたる。入学後授業において様々な課題に対するアイデアを出す活動、そのアイデアを文章としてまとめる活動、それらを発表しあい、効果的に考えを伝え合う活動を行ってきた。資料を用いて伝えることの効果についても学んだが、自分たちでそれらを作成し、発表するのは今回が初めてである。

2. 単元名「魅力的に伝える」（全5時間）

3. 単元で育成すべき資質・能力の三つの柱につながる単元の評価規準

①知識・技能	相手に魅力的に伝えるための表現法や、ビブリオバトルの発表についての知識について理解している。
②思考・判断・表現	相手に魅力を伝えるための言葉選びや資料のレイアウトなどを工夫できる。また、声の大小や抑揚、時間等に留意して発表できる。
③主体的に学習に取り組む態度	相手に魅力的に伝えるための表現等に工夫を加えながら紹介文や資料の作成、または発表に取り組もうとしている。

4. 本時の目標

（略）

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い

『ビブリオバトルで本を魅力的に紹介するためにはどうしたらよいだらう。』

考えるための材料

- ①各自の課題図書
- ②紹介用端末（Chromebook）
- ③評価規準表・評価シート

想定される活動

- ①各自で選んだ課題図書の魅力について、人に効果的に伝わるよう言語化する。
- ②課題図書の魅力を伝えるため、図や絵を挿入した発表シートを Chromebook で作成する。
- ③提示された評価規準に基づき、生徒それぞれがお互いの発表に対してABC評価とコメントで評価をシェアする。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

ア 課題図書の選出とあらすじの作成

- ・自分の伝えたい魅力やおすすめポイントをあらかじめ見越した上での概略を作成することに留意。

イ 課題図書の魅力・おすすめポイントの勘案

- ・魅力的であり、かつ相手がその本を読みたいと思うようなおすすめポイントを選ぶ。
- ・効果的に魅力を伝えられるよう、比喻や話す順序などの言葉の表現に工夫を加える。

ウ 発表シートの作成

- Chromebook を使い、Google ドキュメントで作成。
- より魅力的に伝わるよう、文字のフォントや書体等に工夫を加え、かつ図や絵、画像を添付するなどしてレイアウトの工夫にも留意する。

エ 相互発表・相互評価

- 6名で一つの発表ブースを構成し、相互に発表を行う。A、B、Cの三段階で評価をしあうが、原則自分以外の5名のうちA評価をつけるのは1名とする。
- 発表者は声量・声の抑揚・スピード・時間配分などの評価規準に留意しながら発表を行う。
- 聞き手（評価者）は同上の評価規準についてあらかじめ把握し、その規準に基づき発表を聞く。
- 相互に肯定的な姿勢で評価をし、ABC評価だけでなく良かった点や「こうするともっと良かった」といった形でのコメント評価も付す。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- 各自の課題図書が相手を読みたくなるよう、言葉としての表現の工夫などをし、より効果的に魅力を伝えようとしている。（発表の観察、評価シートの分析）
- 各自の課題図書が相手を読みたくなるよう、発表シートのレイアウト（文字フォントや書体、絵図画像）の工夫をし、より効果的に魅力を伝えようとしている。
（発表の観察、発表シートの分析、評価シートの分析）
- 評価者として、相手の発表に対して評価規準に基づいた的確な評価・コメントを与えようとしている。
（発表の観察、評価シートの分析）